

日刊建設工業新聞

令和3年4月22日（木曜日）

来夏の参院選で 足立敏之氏推薦

奥村全建会長ら

全国建設業協会（全建）の奥村太加典会長と今井雅則副会長が東京都内で21日に記者会見した。同日の理事会で2022年7月に予



会見に臨む奥村会長（左）と今井副会長（右）21日、東京都中央区の東京建設会館で

定される参院選で現職の足立敏之議員を建設業界の職域代表候補として推薦することを決めた。奥村会長は「足立先生の過去5年弱の建設産業に対するご貢献、ご支援は特筆すべきところが多い。心から応援したい」と述べた。

奥村会長は「足立先生は大きな災害が発生すると直後に現地へ赴き、災害の実情を把握し国としての支援などに生かしてくれる。被災地域としては非常に頼りになる存在だ」と強調。

「同じ当選であっても大きな票を獲得して当選してもらいたい」という強い思いがある。全力で取り組みたい」と応援を約束した。

今井副会長は「国土強靱化事業の予算確保に当たり、予算が必要だというコ

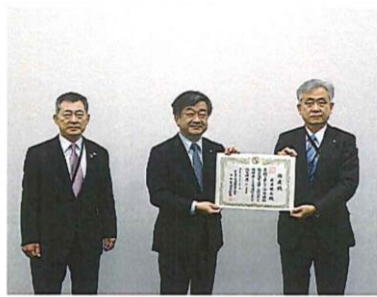
ンセナスを国会議員全体に働き掛けてもらっている」と取り組みを評価した。一国だけでなく、自治体への橋渡しもありたい。業界の働き方改革など目に見える活動をしてもらっている。われわれとしては大変助かっている」と話した。

足立敏之氏を職域 代表候補に推薦

建設業団体

2022年7月に予定される参院選に向け、建設業界の職域代表候補に現参議院議員の足立敏之氏の推薦を表明する動きが相次いでいる。全国建設業協会（全建、奥村太加典会長）は21日の理事会で足立氏を推薦することを47都道府県建設業協会の総意として決議した。同日、奥村会長と今井雅則副会長が足立氏に推薦状を手渡した。

推薦状を手にする全建の奥村会長（左）と足立議員（中央）、今井副会長（右）21日、東京都内で



日本建設業連合会（日建連、山内隆司会長）は19日の理事会（書面開催）で、来夏の参院選の支援対象者を足立氏に決めた。28日に東京都内で開催予定の定時総会後に宮本洋一新会長から足立氏に推薦状を手交する予定だ。22日には日本橋梁建設協

会（橋建協、満岡次郎会長）が足立氏に推薦状を渡す予定となっている。全国中小建設業協会（全中建、土志田領司会長）は5月下旬の理事会で足立氏の推薦を決め、6月18日の総会で推薦状の手交を予定している。

足立氏は、16年の参院選で「建設産業再生」を旗印に掲げ初当選した。以来、一貫して建設産業発展に尽力してきた。予算委員会や国土交通委員会で積極的に発言し、公共工物品質確保促進法（品確法）の改正で大きな役割を果たした。被災現場にいち早く出向き、現地のニーズを的確に把握し国政に反映させてきた。「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の策定や安定的で持続的な公共事業予算の確保にも重点的に取り組んでいる。